

2019ワールドオールスタージョッキーズ出場外国騎手プロフィール



騎手名 リサ・オールプレス  
Lisa Allpress

主な騎乗国 ニュージーランド

国籍 ニュージーランド

生年月日 1975年5月20日

プロフィール

ニュージーランド出身。ケビン・グレイ厩舎の見習騎手となり、1996年に20歳でリサ・マンビーとしてデビュー。同年3月のハウエラ競馬場で初勝利を挙げた。その後徐々に騎乗数を増やし、2000/01年は84勝でニュージーランド・リーディング3位に入った。2002年にカール・オールプレス調教師と結婚し、出産、育児も経験した。その後も騎乗を続け、2008/09年に80勝、翌シーズンに108勝を記録し、同国でのトップ騎手としての地位を確立した。

2010年12月にキャプテンクックスステークスを勝利し、母国で初のG1制覇を達成すると、続く2011/12年は159勝を記録し、リーディングのタイトルを獲得した。2013年2月6日に同国の女性騎手として初めて通算1000勝を達成し、同年8月にはイギリスのシャーガーカップに女性騎手選抜チームの一員として参戦した。2015/16年はG1競走3勝を含む、キャリアハイとなる171勝を挙げ、2度目のリーディングを獲得した。ここ数年は怪我との闘いが続き、リーディング争いから脱落していたが、2018/19年は今年3月のニュージーランドオークス(G1)の勝利を含め133勝で3度目となるリーディングの座に振り返り咲き、怪我からの完全復活を印象付けた。

海外での騎乗経験も豊富で、2002年には遠征先のシンガポールでローカルG1のライオンシティカップを優勝すると、短期免許でJRA初騎乗も果たした。2回目の来日となった2015年には、新潟大賞典(GⅢ)で13番人気のナカヤマナイトを2着に導くなどチャンピオンジョッキーとしての実力を披露した。日本では過去3回(2002年、15年、16年)短期免許で騎乗したが、ワールドオールスタージョッキーズ(WSJSを含む)には初出場となる。騎手になった頃から、ランス・オサリバン騎手などニュージーランドのトップ騎手が参加した日本の国際騎手招待競走に憧れを持ち、長年出場を熱望してきたが、それが実現することとなった。

成績

|                        |          |                            |
|------------------------|----------|----------------------------|
| 2017/18シーズン (ニュージーランド) | 367戦 56勝 | 獲得賞金:新\$1,148,029 (勝利数11位) |
| 2018/19シーズン (ニュージーランド) | 815戦133勝 | 獲得賞金:新\$2,480,653 (勝利数 1位) |

シーズン終了

主なG1勝鞍

| 競走名  | 年・騎乗馬                             |
|--|-----------------------------------|
| ニュージーランドオークス(G1)<br>New Zealand Oaks                       | 2019 センチメンタルミス (Sentimental Miss) |
| マナワツサイアーズプロデュースステークス(G1)<br>Manawatu Sires' Produce Stakes | 2016 ルナロッサ (Luna Rossa)           |
| ハービーダイクステークス(G1)<br>Herbie Dyke Stakes                     | 2016 バレーガール (Valley Girl)         |
| レヴィンクラシック(G1)<br>Levin Classic                             | 2016 デュークダム (Dukedom)             |
| ホークスベイチャレンジステークス(G1)<br>Hawke's Bay Challenge Stakes       | 2012 オーシャンパーク (Ocean Park)        |

2019ワールドオールスタージョッキーズ出場にあたってのコメント

全力を尽くしたいです。そして、女性騎手の素晴らしさをお見せしたいと思います。